

新たな社会教育の核として 町交流情報センター落成式



テープカットで落成を祝いました。

ブが切られると、大きな拍手が起きました。

式では、住永町長が「町民の強い願いであった図書館機能を持ち、教育・文化・情報などの様々なニーズに対応できる交流情報センターが完成しました。ふれあいと活気あるふるさとを目指す施設、より身近な夢が詰まった施設として多くの方々にたくさん利用していただきたいと思います」と祝辞を述べました。

次に事業経過報告や施工業者等に感謝状が贈られ、また、アトラクションとして益城弾正太鼓の演奏が披露され、勇壮で見事な太鼓の音が、落成式に華を添えました。

3月31日、町交流情報センターで、完成を祝う落成式が、町関係者・教育関係者・町議会議員・施工業者等を集め盛大に行われました。この図書館を備えた交流情報センターの完成で、総合体育館や陸上競技場とあわせた「都市と農村が交流する文教の里」事業がすべて完成し、町民の新たな教育・文化・交流の場としての活用が期待されます。



木山中吹奏楽部の見事な演奏がオープニングを飾りました。

長年の活動に感謝状

ひだかとしひろ

日高俊寛さん（広崎2町内）

本年3月に人権擁護委員の任期を満了された広崎2町内の日高俊寛さんに対し、法務大臣から感謝状が贈られました。

日高さんは平成12年4月から平成21年3月までの9年にわたり、人権擁護委員として人権の擁護と人権思想の普及・高揚に努められました。

4月6日に、町長室で法務局御船支局長から感謝状が伝達され、日高さんは「表彰ありがとうございます。これからは、側面から人権擁護委員のみなさんのサポート役に努めていきたい」と今後の抱負を話していました。

人権擁護活動に尽力された日高さん（写真中央）



サッカーで県の頂点に

益城ビッグウェーブ

第34回熊本県総合サッカー選手権大会が2月15日から3月29日にかけて開催され、益城ビッグウェーブが頂点に立ちました。

大会には県内から82チームが出場。強豪チームを次々と破り、一気に決勝戦まで登りつめ、迎えた決勝戦でも合志ペルナ（合志市）に5対1で快勝しました。

守備陣は6試合でわずか2失点に抑え、攻撃陣は19得点と多彩な攻めを披露しました。

水口浩介監督（寺中）は、「これまで、選手の家族を含めたくさんの方に支えていただき感謝しています。これからも地元、小・中・高校生の目標とされるチームづくりを目指したい」と話していました。



優勝した益城ビッグウェーブのメンバー